瀬戸内発見伝

巻の二十一

大相撲と日本刀

大相撲を観戦していると、横綱だけ他の力士とは別に特別な「土俵入り」をします。横綱を含め三人で土俵入りを行います。まず「露払い」が先導し、清めながら横綱の通る道をつけ、そして堂々とした横綱が入り、その後を本物の太刀拵を持った「太刀持ち」が入場します。

【相撲の始まり】

そもそも相撲は神代の時代から行われています。『古事記』には神々の国譲りの際、相撲が行われ勝者に国が譲られました。『日本書紀』には大和国の当麻蹶速と出雲国の野見宿禰が垂仁天皇の御前で相撲をとり、宿禰が勝利し、蹶速の領地を与えられたという話が載っています。ちなみにこの時勝利した野見宿禰が「相撲の始祖」として祀られています。

その後、宮廷儀式や勧進相撲として発展していきます。

一般的に身体の鍛錬のためや、武士の実戦での必要性のためにも相撲をとることは日常に行われていました。

【横綱土俵入りについて】

相撲の歴史はあれど、横綱の土俵入りが始まったのはそんなに昔の話ではありません。現在伝わっているさまざまな相撲の伝統様式にしても、体系化され、権威を付されていったのは主に江戸中期以降と考えられています。

第7代横綱　稲妻雷五郎土俵入り図

横綱の土俵入りに限って言えば、寛政3（1791）年、大の相撲好きであった11代将軍・徳川家斉によって上覧相撲が開催された時（第4代横綱谷風・第5代横綱小野川）がその始まりと言われています。

江戸期には力士は諸藩のお抱えとなり、士分に取り立てられます。その力士の最高位である横綱にだけ方屋、今で言う土俵に上がるときに、太刀持ちが許されていました。これは横綱の免状とは別に、太刀持ちを許すという免状をわざわざもらっていました。何のためかというと儀式の威厳を誇示するためとされていますが、演出的な意味合いも強かったとも言われています。

このほか「横綱土俵入り」に関して、面白い点がたくさんあります。

例えば、土俵の上で「露払い」と「太刀持ち」の位置の問題です。現在は「太刀持ち」は横綱の右側ですが、明治・大正のころはバラバラだったといいます。江戸時代の錦絵では、東方と西方によっての違いが目立ちます。

また、現在「太刀持ち」が持っている太刀の外装は「太刀拵」ですが、江戸期の錦絵を見ると、「打刀拵」を持っているのがほとんどで、最末期の第12代横綱陣幕久五郎のころから「太刀拵」が登場します。

このたび実際に使われた名横綱の「土俵入り太刀」を中心に、大相撲にまつわる御刀の特別展を備前長船刀剣博物館で開催します。

第11回中国・四国の現代刀工展
「大相撲と日本刀」

▷**期間**　8月31日（木）～10月1日（日）
▷**場所**　備前長船刀剣博物館
※詳しくは、本紙23ページくらしの情報をご覧ください。

ジャンプ ステップ ホップ

このコーナーは、生涯学習に生き生きと取り組む皆さんを紹介します。皆さんも仲間入りしませんか。

押し花ワールドにひたる「押し花クラブ」

月1回邑久町公民館で、押し花づくりに精を出す『押し花クラブ』の皆さんは、今回素敵なバラの押し花に挑戦していました。生花をカッターで切り、花びらをていねいに1枚1枚、和紙に挟みます。葉も茎も同様に。しっかり乾燥させた後、花びらや葉を組み合わせ形を整え、押し花アートの完成です。

花のナチュラルな美しさを大切にしながら、アイデアを凝らして絵を作ります。絵の具の替わりに、花を使うアート作品。その素材は花だけでなく、くだものでもOK。道ばたや山にある四季折々の素材が、押し花になります。

大きな作品から、小さな壁掛け、コースター、キーホルダーと種類もいろいろ。「乾燥した花を見るとき、その花で作品が完成したときと喜びは2回もあって、すごく楽しい」と、笑顔で花を見つめながら、クラブの皆さんは押し花を楽しんでいました。興味がある人、押し花を始めてみませんか？ 会員募集中です。

作品を手にする押し花クラブの皆さん

分からないことは先生に聞き、細やかに教えてもらいます

★活動場所　邑久町公民館
★会費　月1、000円
★代表　山口喜代子さん
☎0869-25-9050
★活動日時　第1水曜日
午前10時～正午

気迫を込める拳士たち「長船少林寺拳法スポーツ少年団」

長船中学校体育館で、少林寺拳法の練習に汗を流す長船少林寺拳法スポーツ少年団の拳士たち。14人の拳士は小学校2年生から高校1年生と幅広く、技の習得に努力しています。

「半ばは自己の幸せを、半ばは他人（ひと）の幸せを」の自己確立、自他共栄を説く少林寺拳法の理念のもと、この団は、「技を通じて、一人一人自信をつけ、地域でリーダーシップを持てる青少年を作り、住み良い地域社会を作っていくこと」がモットーです。

真剣に行う相対演武

準備体操をした後は、二人組で技を磨く相対演武や一人でする単独演武の練習を行います。一人で練習する時も、いつも相手を想定して気迫を込めて練習し、身体が自然に動くようになるまで、反復練習。

交歓大会や県大会、昇級試験を目指し、一つ一つの技を正確に、気迫を込めて行う拳士たちの真剣な姿がありました。

さわやかな笑顔が似合う長船少林寺拳法スポーツ少年団の皆さん

★活動場所　長船中学校体育館
★会費　月2、000円
★代表　上岡菊美さん
☎0869-26-5529
★活動日時　火・木曜日
午後6時30分～8時